



およそパチスロ機のイメージとかけ離れたマットブラックの質感と、紫混じりの怪しげなパネルが如何ともし難い雰囲気醸し出すハナビのニューパネル。初めて目にした時はまるで斬新なカスタムカーを見た時のように男心をくすぐられ、設定云々ではなくとにかく触ってみたいという衝動に駆られたが、いざ勝負を挑んでみると外見だけでなくその中身までもが旧パネルと違うような気がした。

とにかく偏るのである。見た目は違えど、スペックは何ら変わらないのだからそんなことはないと思う。頭ではわかってはいるが、旧パネルに比べるとブラックパネルはどうかバケが先行しやすい気がして仕方がないのである。

バケに偏るといことは当然ながら大量の出玉は望めないわけで、ブラックパネルをメインに打ち出してからというものを、みるみるうちにハナビの戦績は落ちていっ

より設定状況は以前よりも良くなったように感じるため、最近ばかりから高設定狙いに動かしむことも少なくはない。現に今回実戦したホールも、ブラックパネルの導入以降、毎日のように高設定を投入しているように見受けられる。スペック的にもそこまで大暴れはしにくいから、ホール側としても見せ台をつくりやすいのだろう。

ただ、設定推測に関しては一見単純のようで、実に難しい部類に



右を押した瞬間、猛烈な違和感に襲われ手を止める。ふーっと一息ついたあとにブラック絵柄を狙えば、1枚以上に価値のある安心感に満たされます。さあ、赤七のおてまし。

た。加えて、知り合いのホール店長までもが「ブラックパネルは出ない」なんて言い出すモンだから、ブラックパネルは恐らくスペック自体が違うのだという僕の中での疑惑は深まるばかり。

しかし、そうは言ってもサンプルが少ないのも事実であるから、だつたらもつと打ち込んでみよう…というわけで、今回の機種はハナビブラックパネルを選んだ。

真相がどうであれ、増産増台により設定状況は以前よりも良くなったように感じるため、最近ばかりから高設定狙いに動かしむことも少なくはない。現に今回実戦したホールも、ブラックパネルの導入以降、毎日のように高設定を投入しているように見受けられる。スペック的にもそこまで大暴れはしにくいから、ホール側としても見せ台をつくりやすいのだろう。



RT中フラッシュ発生時にどこから押すか…。こんなことに対して一生懸命悩んでいるうちは、僕は幸せなのかもしれません。中リアル赤七狙いからのワンツー炸裂なり。

入るように思う。風鈴が良くても他がダメ、ボーナスは引けるが小役が落ちないといった風に、あちらを立てればこちらが立たぬという状況に陥ることが多く、諦めて捨てたあとにビッグ中のハズレが出現したりするなど、とにかく一筋縄ではいかないものである。

そしてこの日も、まさにそのような具合であった。

投資3千円でドンビッグを射止め、そこからボンボンとボーナスが繋がりとって間に余裕ができたが、いつまで経っても小役の出現率が上がってこない。さらに、ビッグ中のナナメ風鈴はぶつちぎりで奇数寄りとなっており、出玉とは裏腹に僕のテンションはどんどん下がっていった。

「こりゃあ、いつノマれるかわからないぞ…」

ボーナス出現率だけで押し通せるほどハナビは甘くない。それを十分にわかっているからこそ、プ

スのうちにはやめておいたほうが賢明だろうと、2千ゲームほど回したところでコインを全て箱に移し、席を立つ準備をした。

……テロロン。

遅れた。その瞬間、思いっきり遅れた。思いっきり遅れたという表現が日本語として正しいのかわからないが、ハナビ打ちには伝わるだろう。そして暫しの間どこを狙うか考え、中押しでチェコチエを狙うとスルリとスベって上段にドンちゃんグズドン。遅れ絡みならば、問答無用の一確である。

よし、このボーナスが終わったら即ヤメだ。そんなことを考えながらドンビッグを消化していると、その最中になんとハズレが出現したではないか。これだからハナビはわからない…。

結局、最終的にはすべての要素が設定らの近似値となり、複雑な心境ながらも、ブラックパネルで記念すべき「初勝利」となった。



せつせと風鈴をカチカチしても、花火ゲーム中のハズレを数えても、結局はコレが出ないと設定なんてわからない。逆をいえばコレさえ出ればいいんです。ハズレ万歳。

実戦に関係あつたりなかったりする余談です

諸ゲンの実戦こぼれ話

信じるか信じないかはアナタ次第



リールの幅は狭いしリプレイでコイン投入できるしで、どう考えてもただのパネル違いとは思えないブラックパネル。スペック違いがリリースされる…なんて噂も元々ありましたから、どうにも同じマシンとは思えないわけです。今回はビッグ先行で無事勝利できたものの、低設定らしき台は軒並みバケ先行でしたからね。まだ疑ってますよ。

果たしてスニーカーに届いたのか!?

今回の目標達成度

今回の目標差枚 **プラス1,100枚**

今回の収支

プラス1,514枚 (137.6%達成)

まさか2,000ゲームでヤメるわけにもいかず、かといってめぼしい空き台もなしという状況でしたから、今回ばかりは負けなと思っていました。ジョーダン4と引き換えに、ハナビの難しさを痛感した次第であります。

諸ゲンのスニーカーウォーズ

SNEAKERS WARS

#3



数多くの魅力的なスニーカー達を購入するため、プラス差枚目指して奮闘。果たして、諸ゲンはお目当てのスニーカーを手に入れることができるのか!?

今回のスニーカー



エアジョーダン4

- ・ナイキ
- ・2016年発売
- ・メーカー希望小売価格 税込み22,680円
- ・レア度☆☆☆
- ・好き度☆☆☆

ジョーダン4は通称「オレオ」を保有しているのですが、ゴツすぎずスポーティーすぎず、非常に汎用性が高い一足なので重宝しています。今回のジョーダン4オルタネイトは白×赤という鉄板のカラーリングではあるものの、正直合わせやすさという点ではオレオに軍配が上がりそう。しかし、春先から夏にかけて全体的な色合いが明るくなってくる時期には活躍してくれそうな一足なので、持っていて損はないでしょう。

今回の目標差枚 **プラス1,100枚**

今年もナイキから目が離せない 初スニーカーで縁起を担ぐ

初夢初売り初詣と、人は新たな一年が明けると新年の平安や無事を祈願したり、ひとつひとつの物事に縁起を担いだりする。一年なんてあつという間、初夢なんてどうせ一週間もすれば忘れてしまうのにと普段なら冷めた目で世間を見つめる天邪鬼な僕であるが、今年ばかりは周囲と一緒に初夢ノ縁起を担いだ。

その初夢とは、今年の初スニーカーであり今回のターゲットでもある、『エアジョーダン4』である。ホワイトのアップパーにジムレッドのアクセントを効かせたこの一足は、まるで紅白カラーのようで、新年一発目のスニーカーとして相応しいことこの上ない。ジョーダンシリーズの中では人気の高いモデルであるからそれなりに熾烈な争いが予想されるものの、見事それを制して購入できれば、今年一年はスニーカー運に恵まれるような気さえしてくるものだ。

しかし、いくらめでたいカラーリングの一足といえど、発売日が正月真つ只中の一月二日というのは如何なものか。三が日という言葉があるように、元日から三日までは新年を祝賀する期間であり、事実上の祝日となっている。それにも

関わらず、世のスニーカー小僧が放つておけない作品をこんなタイミングでリリースするのだから、ナイキジャパンも意地が悪い。まるで、今年も世間のスニーカー熱は冷めないぞと、いや、我々が冷めさせないぞとナイキが高らかに宣言しているかのようである。

その証拠に、今年はずでに数多くのジョーダンシリーズがリリースを控えており、年明けにジョーダン4が発売されたあとは、まず同月にジョーダン1やジョーダン5、そして翌月にはジョーダン2にジョーダン10など、春先だけでなんと10足以上のジョーダンシリーズがスタンバイしている。また、ジョーダンに限らずエアマックスシリーズとシュプリームのコラボが噂されるなど話題に事欠かないナイキは、今年もスニーカー戦線を引っ張ってくれる存在であることは間違いないであろう。

とにもかくにも、そんなスニーカー熱冷めやらぬ2016年を乗り切るためには、まず最初が肝心。今年一年、狙っているスニーカーが難なく買えますようにという願いを込めて、今年の初スニーカーは紅白カラーのジョーダン4に照準を絞ったのだった。